

九州大学 伊都キャンパス ガイドブック 2015

Kyushu University Ito Campus Guidebook

2015年2月
発行



九州大学伊都キャンパスイメージソング

愛し伊都の国 — 嘸鳴天空広場の歌 —

作詞:きたやまおさむ 作曲・編曲:稲永 要 編曲補:中村滋延

誰かに 似ているかな
ふんわり夏の雲
語りかける
迷うところに 夢を

ふざけすぎた夜明けの
冬空凜と立つ
校舎の群れ
風にまかれ 皆を迎える

愛し伊都の国
愛し伊都の国
ありがとう今日まで
ああ明日からも
お前は第二の
ふるさとの家
九州大学
いつもここで 待っていて

一人ほっちになったら
背中を押してくれる
風は歌う
「あの日受けた 傷は癒えたか」

愛し伊都の国
愛し伊都の国
ありがとう今日まで
ああ明日からも
さらば伊都の国
さらば伊都の国
九州大学
いつもここで 待っていて

愛し伊都の国
愛し伊都の国
九州大学
いつもここで 待っていて

福岡県糸島半島の豊かな自然に抱かれた「九州大学伊都キャンパス」、そのセンター2号館4階に「嘸鳴天空広場「Q-Commons」」は誕生し、連日、多くの学生に愛され、利用されています。

嘸鳴天空広場は、図書館機能を持ち、勉強はもとより多くの学生の憩いの場として設けられたこれまでの大学にはない新しいスペースとして、平成21年4月の全学教育の伊都キャンパス開講に伴いオープンしました「嘸鳴」とは中国最古の詩集「誌経」にでてくる言葉で、自然豊かな伊都キャンパスで多くの学生が仲間を求めて切磋琢磨しながらともに成長して欲しいという願いがこめられています。

そこで、この場所が、さらに愛されるよう、九州大学の新しい顔となった伊都キャンパスのさわやかなイメージとを重ね合わせたイメージソングを作ることとしました。

このイメージソング作成にあたっては、本学学生と教員の協力により作成することとし、楽曲を学生から公募、作詞は本学の大学院人間環

境学研究院元教授で作詞家でもある北山修名誉教授が担当、楽曲については応募作品の中から、稲永要さん(当時大学院人間環境学府)の作品を選び、編曲も稲永さんが行い、編曲補として中村滋延教授(大学院芸術工学研究院)の協力により完成しました。

また、ボーカルも学生の中から、松本尚之さん(当時農学部)、西原弘朗さん(当時薬学部)が選ばれ、稲永要さん(ピアノ)、八並心平さん(当時大学院芸術工学研究院・バイオリン)、山田有希子さん(当時大学院人間環境学府・キーボード)を加え「the Quintet」を結成し、演奏・歌唱を担当しました。加えてジャケットデザインも学生から募集、吉田梨奈さん(文学部)のデザインが採用され、本学学生及び教員の合作により完成し、他には類を見ないものとなっています。

本曲を聴いて、口ずさみ、成長する学生を温かく見守って頂くとともに、「魏志倭人伝」にも登場する伊都の地に思いをはせていただければ、幸いです。

YouTube 九州大学公式チャンネル(<http://www.youtube.com/KyushuUniv>)で視聴いただけます。

お問い合わせ

- 住所 〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 ビッグオレンジ
- TEL 092-802-2300, 2301 FAX 092-802-2302
- E-mail BigOrange@jimu.kyushu-u.ac.jp
- URL <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp>



目次

九州大学 伊都キャンパス ガイドブック

Kyushu University Ito Campus Guidebook

施設

伊都キャンパス見学マップ	3
ビッグオレンジ	5
椎木講堂	5
センター1号館・2号館	6
センター3号館(基幹教育院棟、 九大ゲートブリッジ(連絡橋))	6
比較社会文化・地球社会統合科学 言語文化教育研究棟	7
伊都図書館	7
伊都ゲストハウス	8
ドミトリ1・2・3、伊都協奏館	8
次世代燃料電池産学連携研究センター	9
カーボンニュートラルエネルギー国際 研究所	9
稲盛財団記念館	10
水素ステーション	10
ウエスト2・3・4号館、キャンパスコモン	11
超顕微解析研究センター	11
最先端有機光エレクトロニクス研究 センター	12
生物多様性保全ゾーン	12
レンズ風車	13

食堂・売店

課外活動施設	13
現在整備中の主要な建物 これからの建物整備(平成30年度)	14
ビッグオレンジ(レストラン・書店)	15
レストラン「TRIP-TRIP(アトリーイット)」	15
ビッグさんど生活支援施設	16
カフェテリア「Qasis(クアシス)」	16
ビッグどら(生活支援施設)	17
九大あかでみつくらんたん	17
中国家庭料理 天天	18
童夢カフェ in OPERA	18
九大生協売店	19
図書館内カフェ「Libca(リブカ)」	19
九州大学グッズ	20

展示・アート

アートワーク「築山」	23
石のファンチャーベンチ	23
センターゾーン キャンパスモールの光環境	23
日本一の大水晶	24
Phantasm(ファンタズム)幻影	24
Green House(グリーンハウス)タリンハウス	24
造船学教室の大碇	24
アインシュタイン博士来学時の写真	25
漆のアート「華髪(けまみ)Togoro [祭物さいまつ]Togoro	25
フーコーの振り子	25
石のアート「QIAO(チャオ)」	25
伊都キャンパスの1年	26
伊都キャンパス見学について	27
伊都キャンパスの移転経緯	29
伊都キャンパス全体図	31
伊都キャンパスの主な受賞歴	32
伊都キャンパスへのアクセス	33

Ito Campus

都市と共に栄え、 市民の誇りと頼りになる大学として

2011年(平成23年)に創立百周年を迎えた九州大学は、
先人が残した幾多の成果を礎とし、
次の百年を築くための舞台ともなる
「伊都キャンパス」の整備を進めています。
糸島半島の豊かな自然環境と共生し、
産学官の連携によって整備される学術研究都市の中核として、
また、「都市と共に栄え、市民の誇りと頼りになる大学」、
「アジアを重視した世界の拠点大学」として発展し続けるため、
伊都キャンパスの整備が着実に進んでいます。



撮影:ミヤザキ ツカサ

伊都キャンパス 見学マップ



伊都キャンパスは敷地面積271ha(福岡ヤフオク!ドーム 約40個分)で、九州大学最大のキャンパスです。

現在、すべての学部の1年生と工学系の学部生そして工学系、社会科学系、数理学の大学院生が学んでいます。そして、平成27年10月には、理学系の移転を予定しています。

また、基礎・基盤的研究はもとより、大型の先端的研究、産学官連携による取組みや次代を担う人材養成プログラム等、社会の様々な課題に対応する教育研究活動を展開しています。

i ビッグオレンジ…………… P. 5 🍴 レストラン・書店…………… P.15	H ビッグさんど(生活支援施設) 🍴 食堂・コンビニ・ATM…………… P.16
A 山川健次郎初代総長胸像…………… P.21	I 比較社会文化・地球社会統合科学・言語文化教育研究棟…………… P. 7
B アートワーク「築山」…………… P.23	J 伊都ゲストハウス…………… P. 8
C 九州大学銘板…………… P.21	K 次世代燃料電池産学連携研究センター…………… P. 9 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所…………… P. 9
D センター1号館…………… P. 6	L 稲盛財団記念館…………… P.10 京都賞ライブラリー(1F)…………… P.22 🍴 中国家庭料理 天天(1F)…………… P.18
E センター2号館…………… P. 6 🍴 カフェテリア 【Qasis(クアシス)】(1F)…………… P.16	M 伊都図書館…………… P. 7 🍴 図書館内カフェ【Libca(リブカ)】(1F)…………… P.19
F センター3号館(基幹教育院棟)…………… P. 6 九大ゲートブリッジ(連絡橋)…………… P. 6	N 水素ステーション…………… P.10
G センターゾーン キャンパスモール 石のファニチャー(ベンチ)…………… P.23 センターゾーン キャンパスモールの光環境…………… P.23	

O ウェスト2号館…………… P.11 Green House(グリーンハウス)(1F)…………… P.24 フーコーの振り子(2F)…………… P.25 日本一の大水晶(2F)…………… P.24 Phantasm(幻影)(2F)…………… P.24 🍴 九大生協売店(1F)…………… P.19	U ビッグどら(生活支援施設) アインシュタイン博士来学時の写真(2F)…………… P.25 🍴 食堂・コンビニ・書店・ATM…………… P.17
P ウェスト3号館…………… P.11	V 最先端有機光エレクトロニクス研究センター…………… P.12 🍴 童夢カフェ in OPERA(1F)…………… P.18
Q 石のアートQIAO(チャオ)…………… P.25	W 生物多様性保全ゾーン…………… P.12
R 造船学教室の大碇…………… P.24	X レンズ風車…………… P.13
S ウェスト4号館…………… P.11 工学部百周年記念展示室 「CENTENNIAL GALLERY」(1F)…………… P.22 漆のアート「華髪(けまん)」1986(1F)…………… P.25 漆のアート「祭物(さいもつ)」1995(2F)…………… P.25	Y ドミトリー1・2・3、伊都協奏館…………… P. 8
	Z 椎木講堂…………… P. 5 🍴 レストラン【ITRI・ITO(イトリー・イト)】 (イタリア料理店)…………… P.15
	a 🍴 九大あかのみつくらんたん…………… P.17
	b キャンパスコモン(多目的芝生広場)…………… P.11
T 超顕微解析研究センター…………… P.11	i 課外活動施設…………… P.13

施設

ビッグオレンジ

伊都キャンパスの情報発信拠点。
来訪者向けのインフォメーション、伊都キャンパスの紹介や「九大百年の景」キャンパスの軌跡と展望」などを、パネルや映像で紹介しています。また、レストランや書店（15ページ参照）も併設しています。
この地がみかんの産地であったことから、形状をみかんの輪切りに似せ、「ビッグオレンジ」と名付けられました。



ビッグオレンジ
(新キャンパス情報発信拠点)

平 日 9:30~17:00
土・日・祝日 9:30~16:30
TEL:092-802-2300, 2301
FAX:092-802-2302
E-mail: BigOrange@jimu.kyushu-u.ac.jp
Webサイト: <http://ito-office.kyushu-u.ac.jp/bigorange/index.html>

※伊都キャンパスの団体見学等をご希望の場合は、ビッグオレンジまでお問い合わせください。

センター1号館・2号館



主に学部の一年生が「基幹教育」(幅広い知識や視野を育成すると同時に、生涯にわたって自律的に学び続けるアクティブ・ラーナーとしての「学び方を学ぶ」「考え方を学ぶ」ための姿勢と態度(基幹)を育成する営み:平成26年4月開始)を学ぶ施設。

1号館には、各教室のほか、学生のキャンパスライフをサポートする事務機能と、情報学習室を設けています。
また、2号館には、各教室と、4階には約200人の学生が利用できる学習・交流スペース(喫煙場、架空広場(Q・Comms))のほか、1階・ピロティには、カフェテリア「Qassis (クアシス)」(16ページ参照)を併設しています。



センター1号館



センター2号館

椎木講堂



実業家の椎木正和様(三洋信販株式会社)SMBCCコンシューマーファイナンスに統合創業家からの九州大学創立百周年を記念したご寄附により竣工した講堂です。
地上4階建て、延べ床面積12,969.77㎡で全体が円形の講堂は、最大で約3,000人を収容できる「コンサートホール」と半円状の巨大なオープンスペースである「ガレリア」そして管理棟から構成され、「コンサートホール」の3階部分は講義室としても活用しています。

また、ギャラリー(1階)、展示コーナー(1・2階)では本学の教育研究活動等を紹介しています。
「椎木講堂」は、本学の新しいランドマークとして、主要行事(入学式・卒業式等)や学会、講演会、会議、演奏会、展示会等学内外の皆様にも広くご利用いただける施設としています。

また、2階には一般の方もご利用いただけるイタリアンレストラン(15ページ参照)を併設しています。
平成27年1月に「福岡県美しいまちづくり建築賞」の大賞を受賞しました。



お問い合わせ・ご予約
TEL:092-802-2160
FAX:092-802-2428
E-mail: shiikhall@jimu.kyushu-u.ac.jp

センター3号館(基幹教育院棟)、九大ゲートブリッジ(連絡橋)



基幹教育院(「基幹教育」実施の核となる教育研究組織)創立百周年を機に次の百年に向けた新たな組織として設置)の拠点施設。教員室・セミナー室・実験室などを設けています。

本3号館3階とセンター2号館の3階を結ぶ「九大ゲートブリッジ」は、学園通り線の両側に広がる伊都キャンパスの東西を結ぶ「連絡橋」としてだけでなく、大学全体のゲート性を有する施設というコンセプトにより計画されたもので、愛称を広く募集し名付けられました。

無段差で、誰もが利用しやすい移動空間となっています。



センター3号館



九大ゲートブリッジ

九大ゲートブリッジ通行可能時間 平日 7:00~21:00
センター2号館及び3号館の3階よりお進みください。

比較社会文化・地球社会統合科学・言語文化教育研究棟

比較社会文化研究院・地球社会統合科学府(大学院)・平成26年4月比較社会文化学府を改組)、言語文化研究院関連の教育研究施設。

1階には教員や学生の研究成果を展示するコーナーもありません。

建物の形状から「バームクーヘン」と愛称されています。1階展示コーナーは、平日9時〜17時の間、ご見学いただけます。



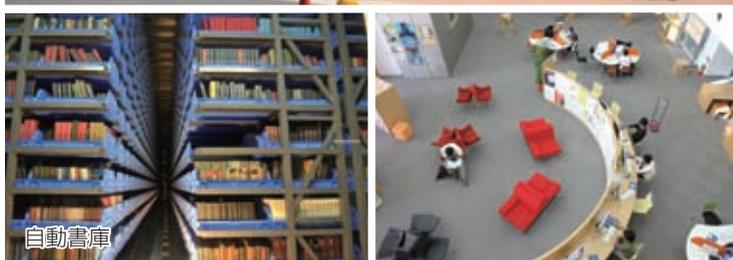
展示コーナー

マップ
I

伊都図書館

自動書庫等の最先端の設備を備え、学生・教職員用ICカードにも対応した総合図書館。

「滞在型図書館」をコンセプトに、用途にあわせて利用できる多様な学習スペースのほか、軽食を提供するカフェ(19ページ参照)もあります。



自動書庫

マップ
M

伊都図書館
月～金 9:00～21:00
土日祝 10:00～18:00
TEL:092-802-2450

伊都ゲストハウス

九州大学において教育研究に従事する外国人研究者等のための木造居住施設。

純木造の公共建築物としては福岡県内最大規模となる木造3階建てで、使用した木材の約6割は福岡県産木材を使用。福岡県の森林整備加速化・林業再生事業の補助を受けて整備されました。

全戸数33戸で、1階には多目的ホールや会議室、和室も備えています。

平成24年7月に木材利用優良施設として「林野庁長官賞」を、また、平成26年1月に「福岡県美しいまちづくり建築賞」を受賞しました。



マップ
J

ドミトリリー1・2・3

伊都協奏館

2014年8月、伊都キャンパスに、留学生と日本人学生が共同生活を送る4名ユニットのルームシェア型学生寄宿舎「ドミトリリー3」と、550名以上の留学生と日本人学生が混住する学生寄宿舎「伊都協奏館」(英語名称「Fony House」)が完成しました。

伊都キャンパスの学生寄宿舎が集まる地域は国際連携ゾーンと位置づけられ、既存のドミトリリーおよびドミトリリー2と合わせ、1,000名以上の外国人留学生と日本人学生が混住して生活を送ります。

伊都キャンパス学生寄宿舎に入居する学生は、多国籍の学生と生活を共にすることで、生活レベルでの異文化体験、豊かな人間性の形成や外国語能力の向上が期待されています。



マップ
Y

次世代燃料電池産学連携研究センター(NEXT-FC)

昨今のエネルギー事情や地球温暖化問題の抜本的な解決策の一つとして注目されているクリーンで高効率な発電システム「固体酸化物形燃料電池をはじめとする次世代型燃料電池の早期実用化を目指し、耐久性や信頼性の確保、さらなる高性能化など、様々な課題の克服に向けて、開発企業との緊密な産学連携活動に取り組んでいます。

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(iCNER)

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択された、低炭素社会の実現を目標としたカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(iCNER)の研究施設です。国内外世界トップレベルの科学者が異分野融合研究を展開できる環境を提供し、水素の製造・貯蔵・利用、二酸化炭素の回収・貯留に関する種々の課題の究明、解決策を提示します。



カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(iCNER)ロゴマーク

稲盛財団記念館

公益財団法人稲盛財団からのご寄附による建物。

1階には国際的な学術・文化交流の場としての「稲盛ホール」や、稲盛財団の活動を紹介する「京都賞ライブラリー」(22ページ参照)、そして2階から4階には、稲盛フロンティア研究センターの研究室があります。

また、1階には中国家庭料理「天天」(18ページ参照も併設しています)。(京都賞ライブラリーは、平日9時~17時の間)をご覧ください。



稲盛ホール

マップ K

平成24年11月、グリーン・イノベーション実現のための世界最先端の水素エネルギー研究拠点施設が完成しました。

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(iCNER)

次世代燃料電池産学連携研究センター(NEXT-FC)



水素ステーション

九州大学水素ステーションは水を電気分解して水素ガスを製造、貯蔵し、燃料電池自動車に供給する実証実験施設で、平成21年9月に運転を開始しました。二酸化炭素を全く発生しない次世代型水素ステーションの開発を目指し、太陽光発電や九州大学発のレンズ風車(13ページ参照)を利用した風力発電による水素製造の研究開発を行っています。

また、福岡県と連携し、九州大学伊都キャンパスと北九州市東田地区の水素ステーションを結び、「水素ハイウェイ」と称した実証研究も推進しています。水素ステーションの横には、水素・燃料電池実証研究サイトがあり、各社のエネファームの実機展示や燃料電池で発電する際に生じる熱を利用した足湯もあります。



水素ステーションと燃料電池自動車



水素・燃料電池実証研究サイト

燃料電池足湯

*現在、燃料電池足湯のオープン日は不定期です。

マップ N



最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)ロゴマーク



有機ELディスプレイ

最先端の有機半導体材料の研究開発とそれらに応用した有機ELデバイスや有機太陽電池等の研究開発拠点。(平成27年3月に共進化社会システムイノベーションセンター(14、31ページ参照)へ移転予定)
最新の設備を備えた実験室やクリーンルーム、研究者の交流スペースを備えています。ロビーには直径2メートルの円筒型の有機ELディスプレイを展示しているほか、1階には一般の方も利用できるカフェ(18ページ参照)を併設しています。(1階カフェのみのご利用も可能です。)

最先端有機光エレクトロニクス研究センター

マップ V



ウエスト2号館

キャンパスコモン 利用時間
平日 17:00~21:00
土日祝 10:30~21:00



ウエスト3・4号館、キャンパスコモン

ウエスト2・3・4号館 キャンパスコモン(多目的芝生広場)

マップ OPS b

ウエスト2・3・4号館は、工学系の教育研究施設です。低層階に特殊実験室や学部学生用の情報学習室、3階には講義室、4階以上には研究室や大学院生室等が配置されています。エントランスホールなどには、様々な展示やアートがあります。
(1、2階は、平日9時~17時の間、ご見学いただけます。)
隣接するキャンパスコモンは多目的芝生広場の名目で、本学学生及び教職員が気楽に集えて、軽スポーツやバーベキュー等を行い、勉強や仕事の合間の語らいや相互の親睦を図る場所として、整備されました。



マヤラン



カスミサンショウウオ

キャンパス周辺の豊かな自然環境との調和を図るため、「種を消失させない」、「森林面積を減らさない」という目標を掲げ、キャンパス全体約271ヘクタールの敷地のうち約100ヘクタールを緑地として保全しています。そのうち、「幸の神」と呼ばれる湧水を含む沢地を「生物多様性保全ゾーン」として、高木移植・林床移植・根株移植を実施するほか、希少種をはじめとする野生動植物の保全を図っています。

生物多様性保全ゾーン

マップ W



超顕微解析研究センター

マップ T

世界唯一のエネルギー分光型超高压電子顕微鏡をはじめ、11台の電子顕微鏡と解析装置などの周辺機器を備えた共同利用施設です。電子顕微鏡を用い、微細組織や原子配列の解析という研究基盤技術を強化し、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーをはじめとする様々な分野での研究を振興し、新しい産業の創出、新技術の開発を促します。文部科学省のナノテクノロジー・プラットフォーム事業などの研究プロジェクトにより、学外の研究者に対しても「超顕微解析研究支援」を実施しています。

本学応用力学研究所の大屋裕二教授の研究グループが開発した風力発電設備で、従来型に比べ2〜3倍の発電効率があります。伊都キャンパスには100kW機×2基（キャンパス北西部）、5kW機×10基（総合グラウンド等）を設置しています。低炭素社会の実現とエネルギーの安定供給実現のための新たな次世代エネルギーの切り札として国内外から注目されています。

また、ビッグオレンズジ（5ページ参照）では、構内連絡用に、レンズ風車をモチーフにデザインしたミニ電気自動車を活用しています。



100kW機



5kW機



現在整備中の主要な建物

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所
第2研究棟 平成27年2月完成

カーボンニュートラル・エネルギー社会の実現を目標とした研究施設であり、国内外世界トップレベルの科学者が異分野融合研究を展開できる環境を提供します。水素の製造・貯蔵・利用およびCO₂回収・貯留に関する種々の課題の究明・解決策を提示します。

共進化社会システムイノベーションセンター
（平成27年2月完成）

国際化・高齢化による社会の多様性を持続的に発展させる新しい共進化社会システムの構築に向け、ヒト・モノ、エネルギー、情報の柔軟なモビリティを包括的に実現する社会システムの研究開発拠点として整備します。

附属図書館（国際化拠点図書館）

Ⅰ期：平成28年度、Ⅱ期：平成30年度完成予定

イーストゾーンに位置し、国際化拠点図書館の一部が先行して整備されます。

世界最高水準の学術拠点を目指す、本学の知の拠点としての図書館です。主体的な学びを創出し、教育活動に最大限活用されること、世界最高水準の学術研究を生み出すこと、大学の知を社会につなぐこと等が期待されます。



課外活動施設Ⅱ（ウエストゾーン）

武道場、音楽練習室、和室、サークル室等を備えています。（センターゾーンに課外活動施設Ⅰを設置しています。）



陸上競技場



多目的グラウンド



総合体育館

文化系・体育系サークルの活動を支援する施設です。伊都キャンパスには、総合体育館、テニスコート、陸上競技場、多目的グラウンド、弓道場、野球場等があります。

これからの建物整備（平成30年度）

理学系地区「平成27年10月移転予定」

ウエストゾーン工学系地区の東側に位置し、キャンパスの一体性を確保するため、隣接するセンター地区及び工学系地区との連続性に配慮した計画としています。

平成25年9月に工事に着手し、平成27年6月完成予定です。

人文社会科学系地区「平成30年度移転予定」

イーストゾーンに位置し、国際化拠点図書館及び人文社会科学系の施設群で構成されています。国際化拠点図書館は、主体的な学びの創出、大学の知を社会につなぐ等をコンセプトに計画しています。

農学系地区「平成30年度移転予定」

ウエストゾーン工学系地区の西側に位置し、キャンパスの西側及び南側の入口として重要なエリアに位置しています。北側には生物多様性保全ゾーン、南側には圃場等が隣接し、これらと一体的な活用を図るよう計画しています。



食堂・売店

ビッグオレンジ(レストラン・書店)

伊都キャンパス情報発信拠点のビッグオレンジ(5ページ参照)には、レストランと書店を併設しています。レストランは、落ち着いた雰囲気のあるフルサービスレストランです。書店は主に学生向けの書籍を販売していますが、一般の方のご利用も可能です。



ランチ 各700円～



レストラン



書店

営業時間
レストラン
11:30～14:00
17:00～20:00
(定休日 土、日、祝、振替休日)
TEL:092-805-7703
書店
月～金 8:30～19:00
土 11:00～14:00
(定休日 日、祝、振替休日)
TEL:092-805-7700



マップ

ビッグさんぽ(生活支援施設)

食堂・喫茶(約920席)、ローソン、ATM、学生の健康をサポートするキャンパスライフ・健康支援センターなどが入った複合施設。食堂には、軽食を購入できるカフェも併設しています。建物が三層構造であること、その外観から「ビッグさんぽ(大きなサンドイッチ)」と名付けられました。(設置ATMは、西日本シティ銀行です。(提携銀行であれば、他行でも入出金のみ可能です。)また、ローソン内に郵便の差出ポストを設置、郵便切手販売、ゆうパックの取扱いを行っています。)

営業時間
食堂
月～金 8:00～20:30
土 11:00～14:00
17:00～19:30
日 11:00～14:00
(定休日 祝、振替休日)
TEL:092-805-7701
ローソン
7:00～21:00
(定休日 日、祝、振替休日)
TEL:092-807-8845



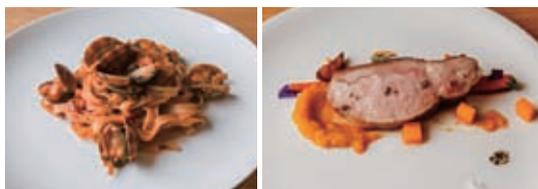
マップ

レストラン『TRII・ITO(イトリー・イト)』

椎木講堂2階にあるイタリアンレストラン。「五感で四季を楽しむイタリアン」「伊都の食文化発信拠点」をコンセプトに、石釜で焼き上げたピッツアなどの本格的なイタリア料理を楽しむことができます。

(※ランチはビュッフェ形式で1,080円(税込))

営業時間
11:00～21:00
ランチタイムは11:00～15:00
(定休日 日曜)
TEL:092-807-0270



マップ

カフェテリア『Q&A's(クアアシス)』

センター2号館1階ピロティにあるカフェテリア(約200席)。昼はオープンカフェテリアとして、夜はビュッフェカフェテリアとして(要予約)洋食中心の食事を提供しています。ハラル料理(アルコールや豚肉を一切使わないイスラム教の律法にのっとった料理)コーナーもあります。

チキンピザやカレーサンド

ラム肉を使ったシャフルマ丹

営業時間
7:45～17:00
(定休日 土、日、祝、振替休日)
TEL:092-805-7702



マップ



ビッグどら(生活支援施設)

食堂・喫茶(約740席)、ローン、書店、ATMなどが入った複合施設。建物の外観から「ビッグどら」(大きなどらやき)と名付けられました。天気の良い日には屋上のテラスで食事ができます。設置ATMは福岡銀行、ゆうちょ銀行です。(提携銀行であれば、他行でも入出金のみ可能です。)また、ローン内に郵便の差出ポストを設置、郵便切手販売、ゆうパックの取扱いを行っています。)



食堂



書店

営業時間
 食堂
 8:00~19:30
 (定休日 日、祝、振替休日)
 TEL:092-807-3195
 書店
 10:00~19:00
 (定休日 日、祝、振替休日)
 TEL:092-807-3061
 ローソン
 7:00~21:00
 (定休日 日、祝、振替休日)
 TEL:092-807-0135

マップ U

中国家庭料理 天天

稲盛財団記念館1階にある中国家庭料理店。日替わりランチやお昼のミニコースがあり、丼物、麺類などのメニューも豊富です。夜はコース料理もあります。



ランチ 700円

営業時間
 月~金 11:30~21:00
 土 11:30~16:00
 (定休日 日、祝、振替休日)
 TEL:092-802-6940



マップ L

九大あかでみつくらんたん

九大工学部前バス停すぐそばにて、生協が運営する飲食店。昼間は低価格の定食等を提供し、夜間は食事のほか、アルコールの提供も行っています。平日夜間と土曜日はサークル、研究室等での集会所としても利用されています。



小鉢等 ¥80~



昼定食等 ¥380

営業時間
 飲食店
 昼間 11:00 ~ 17:00
 夜間 17:00 ~ 21:30
 (集会所としての利用が無い場合
 (定休日 日、祝、振替休日)
 TEL:092-807-0197

マップ a

童夢カフェ in OPERA

最先端有機光エレクトロニクス研究センターの1階にある地元のパン屋さん(石窯パン工房 童夢の森)が営業するカフェ。手作りパンやランチ、有機栽培のオーガニックコーヒーなどをゆつくり楽しんでいただけます。商品のテイクアウトもできます。



営業時間
 8:00~18:00
 (定休日 土、日、祝、振替休日)
 TEL:092-802-0024



ランチプレート
 (特製ほろココ)600円
 ※160円追加でパンの食べ放題

マップ V

九州大学グッズ

九大生協売店では九州大学グッズを販売しています。



つるとまつ

病院キャンパス内の松「釜掛の松」がモチーフとされた石村萬盛堂銘菓「釜掛の松」と、石村萬盛堂で創業以来愛されてきた銘菓「鶴乃子」を芸術工学部学生によるオリジナルデザインを施した鶴乃子ケースに詰め合わせた限定セット。

(小) 329円
(大) 658円



土と植物の薬膳

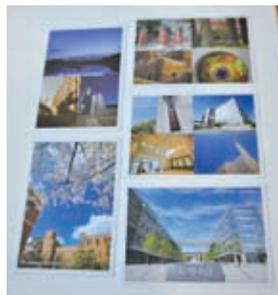
農学研究院で研究開発された安心・安全でクリーンな有機肥料です。

1袋500g 515円

ポストカード

各キャンパスの風景をお楽しみいただけます。

5枚入り 360円



シャープペン&ボールペン

書きやすく疲れにくい滑り止め付きです。

各216円



いも丸

農学研究院と福徳長酒類株式会社の長年の共同研究の成果が活かされてきたもので、掛原料及び麹原料にサツマイモを用いて、甘くフルーティな香りと一本芯の通ったドッシリとした個性の強い味わいを実現しました。

500ml 2160円



九州大吟醸

学生と地域の方々で酒米を育て仕込んだ純米大吟醸酒。浜地酒造との連携により誕生。

(青)720ml 2,560円
(白)720ml 1,640円



※価格はすべて税込です。

ほかにも多くの商品を取り揃えています。

お問い合わせ

九州大学生協 TEL 092-651-7138 FAX 092-641-5293



営業時間
7:00~23:00
TEL:092-806-9803

九大生協売店



ウエスト2号館の1階にあり、弁当、パン、文具類、雑誌、日用品、九大グッズ等を販売しています。(店内にエネットATMを設置しております。(全国の銀行及びゆうちょ銀行に対応しています。)また、サービスカウンターには郵便の差出ポストを設置、郵便切手販売、ゆうパックの取扱いを行っています。)



営業時間
11:00~19:00
(定休日 土、日、祝、振替休日)



図書館内カフェ「Libca(リブカ)」



伊都図書館1階ロビーにあるカフェ(40席)。図書館利用者のリフレッシュコーナーとして、ドリンクを中心としたテイクアウト型の軽食を提供しています。

展示・アート

山川健次郎初代総長胸像

山川健次郎初代総長の出身地である福島県会津若松市から寄贈いただいた胸像。

台座には、山川初代総長が1911年(明治44年)の就任時に九大生を前にして最初に行った訓示の中から、「修養が広くなければ完全な士と云ふ可からず」という九州大学の建学の精神となる「ことば」が刻まれています。この文字は九大書道部の学生により書かれました。

平成25年放映のNHK大河ドラマ「八重の桜」では、その時代を懸命に生きる先生の姿が描かれました。



高さ2.5m

マップ
A

九州大学銘板

書道家柿沼康二氏による「九州大学」の文字を水磨き仕上げの黒御影石に職人の技を発揮し、力強くそして丹念に彫りこんだ銘板で、センターゾーンのキャンパスモール玄関口に設置。

なお、同氏は、平成19年放映のNHK大河ドラマ「風林火山」のタイトルを手がけられています。



大きさ:縦1.6m × 横5m

マップ
C

京都賞ライブラリー

稲盛財団記念館の1階にある展示施設。

京都賞や稲盛財団の活動を紹介する写真パネルをはじめ、授賞式の模様を紹介する「京都賞一知とこころ」コーナー、歴代受賞者による「未来へのメッセージ」を大型ディスプレイでご覧いただける映像コーナー、情報検索コーナーなどがあります。

京都賞：稲盛財団により創設された、科学や文明の発展、また人類の精神的深化、高揚に著しく貢献した方々の功績を讃える国際賞です。毎年、先端技術・基礎科学思想・芸術の3部門に1賞ずつ計3賞が贈られます。



開館時間
月～金(祝祭日を除く) 9:00～17:00
〈お問い合わせ〉
伊都共通事務部 TEL:092-802-2434

マップ
L

工学部百周年記念展示室 『CENTENNIAL GALLERY』

2011年(平成23年)に工学部が創立百周年を迎えるにあたり、その記念行事の一環として、これまでの歴史を振り返り、教育・研究上、価値の高いものを幅広く収集・保存し、一般に公開することを目的として設置。工学部が所有する貴重な史料や機器など約60点を展示しています。



開館時間
月～金(祝祭日を除く)
10:00～17:00
〈お問い合わせ〉
工学部総務課
TEL:092-802-2708



設置場所 ウエスト4号館1階エントランスホール

マップ
S

アートワーク「築山」

マップ B

将来整備する建物用地の活用と残土の有効利用を兼ねて、見通しや美観に配慮するとともに、リズム感のある景観を創り出す目的で、アートワークの一環として整備しています。



直径5m × 高さ約2m

石のファニチャー（ベンチ）

マップ G

センターゾーンのキャンパスモール内の空間にアクセントやリズム感を生み出し、またコミュニケーションやアクティビティーを誘発する滞留空間を作り出しています。



センターゾーンキャンパスモールの光環境

マップ G

夜間におけるキャンパス空間の安全性と安心感を提供するとともに、キャンパスのエントランスに相応しい光環境を創出しています。



日本一の大水晶

マップ O

昭和21年8月、本学工学部採鉱学科の岡本要八郎博士が、島根県馬合城山鉱山にて発見。重さ約1トンで、標本として保存されている国産の水晶としては国内最大級です。



Green House(グリーンハウス)

マップ O

勉強や研究に集中と休息のバランスを与えることを目的とし、視覚的、精神的な休息の空間づくりのために設置したアート。緑は心理的な鎮静効果がある色で、緑に囲まれた環境は疲労を和らげる効果があります。



作家:マイケルリン
設置場所:ウエスト2号館1階 エントランスホール

Phantasm(幻影)

マップ O

人と映像や音が反応し合う双方向の空間芸術作品。人が作品の前を通ることで、よって蝶が舞う映像が浮かび、人が蝶を追いかけるといった関係を画像処理による人影追跡システムとそれに伴う映像で作り上げています。

作家:松尾高弘(本学芸術工学部出身)
設置場所:ウエスト2号館2階ホール



縦3m × 横4.2m

造船学教室の大碇

マップ R

昭和61年に石川島播磨重工業株式会社呉第一工場から寄贈された、重さ6トン、5.1m×3.1mのストック型碇(昭和17年製造)。敷石は、箱崎キャンパスの旧造船学教室に使われていた御影石を使用しています。



伊都キャンパスの1年

4月

入学

毎年約2,500人の学部新入生が伊都キャンパスでのキャンパスライフをスタートさせます。



前期授業開始

伊都祭

大学と地域が一体となり、伊都キャンパスと、それを支える地域の魅力を発信するお祭りです。研究展示や、子供向けの体験教室、地域と大学の特色を生かしたたくさんの露店やステージ企画などがあります。



5月

8月

オープンキャンパス

毎年九州大学を目指す多くの高校生が訪れます。



10月

後期授業開始

九大祭

平成21年から、伊都キャンパスで開催されています。九大生やゲストによるステージ、展示、露店で、毎年1万人を超える来場者で賑わいます。



1~3月

入試

3月

卒業

本学で学んだ学部・大学院(学府)の学生に学位記(卒業証書)が授与されます。



アインシュタイン博士 来学時の写真

マップ
U

1922年(大正11年)12月に
アインシュタイン博士が来学し
た際に撮影された貴重な写真。
*前列左から2番目は相対性理論の紹
介で有名な桑木或雄教授

設置場所
「ビッグホール」階

フーコーの振り子

マップ
O

ウエスト2号館の2階から11
階まで(全長40.6m)の吹抜け
を利用した日本一長い振り子。

1851年にフランスの物理
学者フーコーが発明した装置
で、振り子の振動面が徐々に
回転していく現象によって、
地球の自転を間接的に体感でき
ます。

設置場所
ウエスト2号館2階ホール



漆のアート『華曇(けまん)』

設置場所
ウエスト4号館1階
エントランスホール

マップ
S

伝統的な漆芸技法を用いて、
地域の自然・歴史・文化などをイ
メージして創られたアート。
伊都は、古来よりアジアとの
交流が行われていた地域であり、
製鉄遺構や瓦溜まりなど、文化
の先端を切り開いていたことを
示す遺構が発見されています。

作家・栗本夏樹(京都市立芸術大学教授)

石のアート『IAO(チャオ)』

マップ
Q

人々の豊かな生命力とエネルギー
を伝える五木(いつき)石によって構
成。中央の通路は、国際的な知の拠点
である伊都キャンパスを象徴的に表
現する「国際連携軸」として、洋の東
西を結んでいます。また、伊都キャン
パスに世界から集う留学生の声を
「語る石」として音響アートに使用し
ています。

作家・田浦律子(東京芸術大学教授)



設置場所
ウエスト4号館2階ホール

『華曇(けまん)』1986

『漆物(さいちつ)』1995

キャンパス見学希望のみなさまへ

- 伊都キャンパスは「地域に開かれた魅力的なキャンパス」です。屋外からの建物の見学等により自由にキャンパス内を散策いただけます。
- （屋内展示、ゲートブリッジ等については、各ページの見学可能時間等をご参照願います。）
- 講義、実験中の教室の近くでは講義等の妨げにならないようご配慮をお願いします。
- 建設中の場所が多く、交通規制の箇所があります。安全確保のため、警備員がお声かけすることがありますが、ご理解ください。

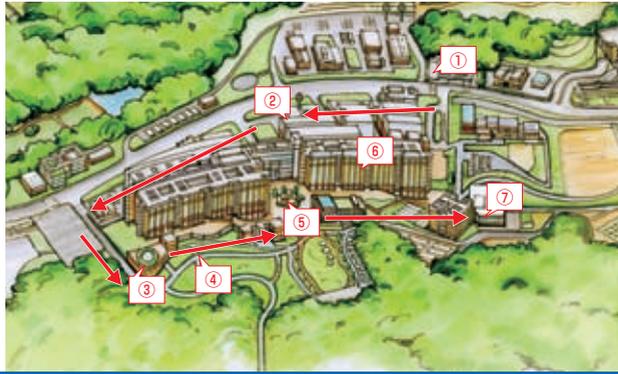
食堂等の利用について

全学部1年生は伊都キャンパスセンターゾーンで履習します。このため授業期間中(4月～8月第1週、10月～2月第2週)はセンターゾーンの「ビッグさんど」(16ページ)「QASIS」(16ページ)は、昼休みの時間帯(11:30～13:00)は非常に混雑します。ご利用時間にご配慮をいただくことを願っております。

2. ウェストゾーンコース

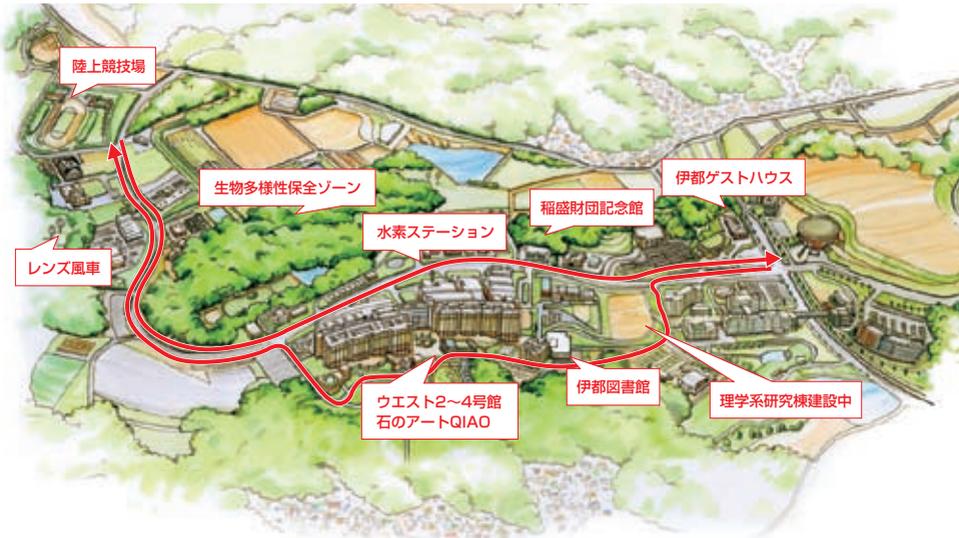
(工学系教育研究施設と展示を中心にご覧いただけます。)

- ①稲盛財団記念館 (10ページ) **L** → ②水素ステーション (10ページ) **N** → ③ビッグどら (17ページ) **U**
 → ④ウエスト4号館 (11ページ) (漆のアート、工学部百周年記念展示室等) **S** → ⑤石のアートQIAO (25ページ) **Q**
 → ⑥ウエスト2号館 (11ページ) **O**
 (日本一の大水晶、フーコーの振り子等)
 → ⑦伊都図書館 (7ページ) **M**



3. 車窓見学コース

(お車利用により、キャンパスを幅広く見学いただけるコースです。)
 ※急停車をご遠慮の上、適宜警備員の指示にはご協力ください。



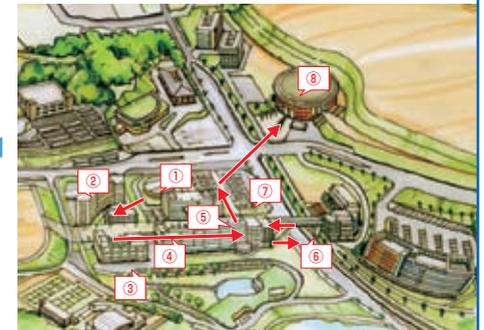
散策コースプラン

1. センターゾーンコース

(学部1年生のキャンパスライフ、九大のメイン施設をご覧いただけます。)

- ①ビッグオレンジ (5ページ) **I**
 → ②比較社会文化・地球社会統合科学・言語文化教育研究棟 (7ページ) **I**
 → ③ビッグさんど (16ページ) **H**
 → ④キャンパスモール (23ページ) **G**
 → ⑤九州大学銘板 (21ページ) **C**
 → ⑥九大ゲートブリッジ (6ページ) **F**
 → ⑦山川健次郎初代総長肖像 (21ページ) **A**
 → ⑧椎木講堂 (5ページ) **Z**

※ゲートブリッジからの景色をご覧になりたい場合、センター2号館の3階よりお進みください。(ゲートブリッジを渡られた際は、折り返してセンター2号館にお戻りください。)



移転スケジュール

時期	第Ⅰステージ 平成17～19年度	第Ⅱステージ 平成20～23年度	第Ⅲステージ 平成24～30年度
伊都キャンパスへの 移転部局等	<ul style="list-style-type: none"> ■工学系 ■理系図書館Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹教育院 ■比較社会文化研究院・学府 ■言語文化研究院 ■数理学研究院・学府 ■理学部数学科 ■マス・フォア・インダストリ研究所 ■理系図書館Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ■カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 ■次世代燃料電池産学連携研究センター ■椎木講堂(H25) ■基幹教育院(H26) ■理学系(H27) ■情報基盤研究開発センター(H28) ■附属図書館(国際化拠点図書館)(H28:第Ⅰ期 H30:第Ⅱ期) ■人文・社会科学系(H30) ■農学系・その他(H30)
移転人口 【伊都キャンパス人口(累計)】	約 5,200人 【約 5,200人】 (学生4,200人、教職員1,000人)	約 5,600人 【約10,800人】 (学生9,500人、教職員1,300人)	約 7,900人 【約 18,700人】 (学生15,500人、教職員3,200人)

← 基幹整備及び新手法による整備 <用地再取得平成24年度完了> →

※第Ⅲステージの()は移転予定年度。

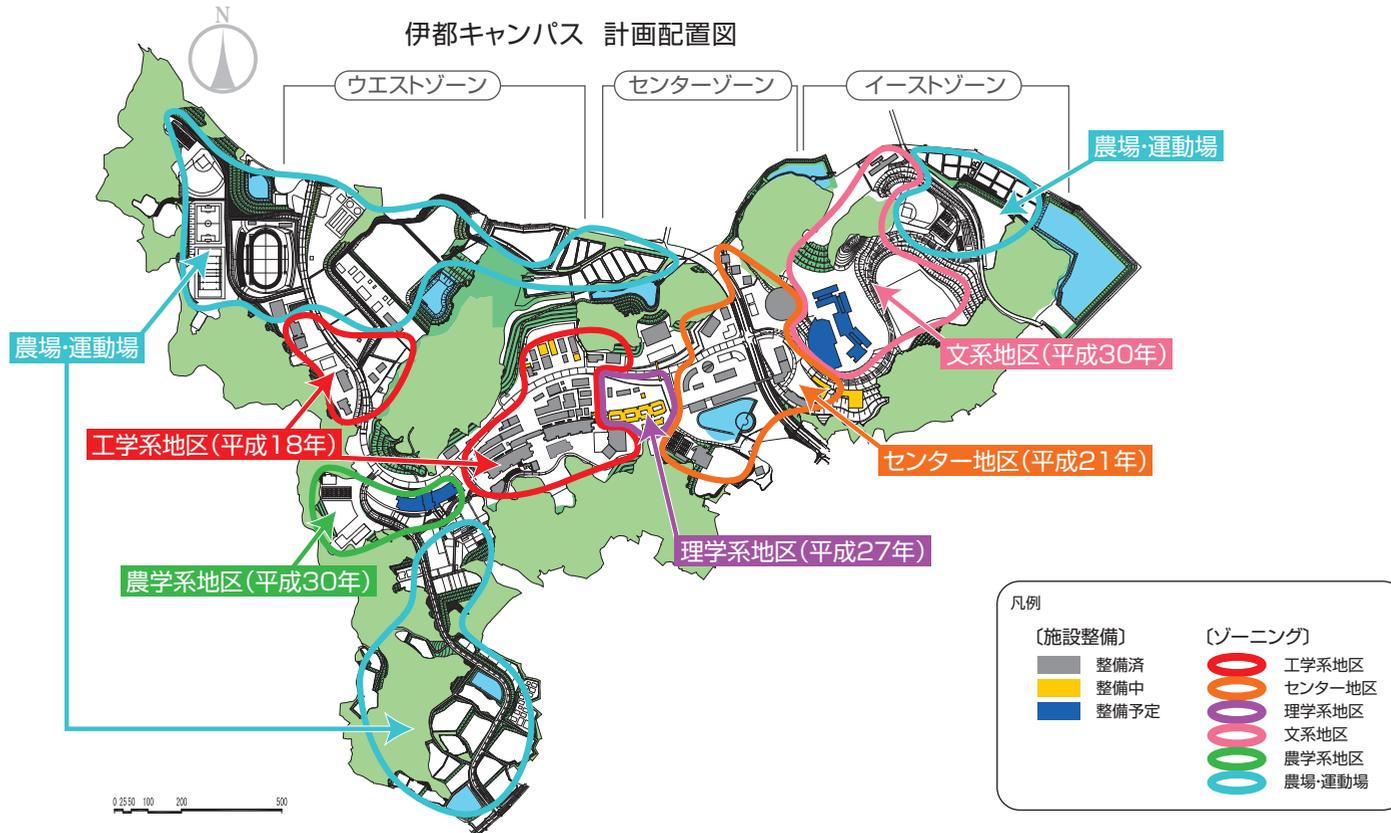
統合移転事業の沿革(発意、計画策定、実施過程、今後の展開)

平成 3年10月	福岡市西区元岡・桑原地区への移転決定
平成10年 5月	「新キャンパスの土地造成基本計画」決定
平成10年12月	福岡市土地開発公社、エリアの先行取得完了 平成24年度に再取得完了
平成12年 2月	「九州大学新キャンパス統合移転事業環境影響評価書」
平成13年 3月	「新キャンパス・マスタープラン2001」決定
平成15年 1月	建築工事(工学系研究教育棟Ⅱ・Ⅲ)着工
平成17年 9月	九大学研都市駅が開業
平成17年10月	第1期開校 工学系第1陣移転(機械航空系・物質科学系)
平成18年10月	工学系第2陣移転(地球環境・システム情報科学)
平成21年 4月	六本松地区移転(全学教育関連施設、比較社会文化、言語文化)
平成21年10月	数理学系移転
平成26年 3月	椎木講堂、基幹教育院棟、連絡橋完成
平成27年(予定)	理学系移転
平成28年(予定)	附属図書館(国際化拠点図書館)移転(第Ⅰ期)
平成30年(予定)	附属図書館(国際化拠点図書館)移転(第Ⅱ期) 人文・社会科学系移転 農学系・その他移転

統合移転のスケジュール

- 第Ⅰステージは、「工学系関連施設」約16万㎡の施設整備が整い、平成17・18年度で学生・教職員合わせて約5,200人が移転しました。
- 第Ⅱステージは、主に1・2年生を対象とする全学教育関連施設整備を完了し、平成21年4月より全学教育が伊都キャンパスで開講。学生・教職員合わせて約10,800人規模の九州大学最大のキャンパスとなりました。
- 第Ⅲステージは、平成30年を目処に、理学系、文系、農学系の移転整備を行う予定。移転完了後は学生・教職員合わせて約20,000人規模のキャンパスとなる予定です。

伊都キャンパス 計画配置図



伊都キャンパスの 主な受賞歴

土木学会環境賞

平成14年受賞。九州大学と福岡市土地開発公社が中心となって環境共生を積極的に進めた新キャンパス建設プロジェクトが、「大規模開発の範となる画期的、先進的な事例」として高く評価され、平成13年度の土木学会より「環境賞」が贈られました。

福岡都市景観賞

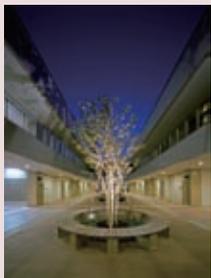
平成21年受賞。今回受賞対象となった伊都キャンパスは、糸島半島の豊かな自然環境と溶け込むように地形を活かし個性的で重厚な建物と開放的な空間を構成している点が評価されました。

日経ニューオフィス賞

九州・沖縄ニューオフィス奨励賞

平成22年受賞。知の拠点としての広大なキャンパスが美しい環境とあたたかい地域住民に支えられていることから、大学と地域と住民が一体となった効果的な機能性をもつキャンパスデザインに仕上がっていることが、高く評価されました。

優秀照明施設九州支部長賞



平成22年受賞。毎年優れた照明施設に授与される賞で、総合学習プラザ (Map 30) が受賞しました。



伊都キャンパス 全体図

ウエストゾーン WEST ZONE

- 1 野球場
 - 2 陸上競技場
 - 3 弓道場
 - 4 課外活動施設II
 - 5 加速器・ビーム応用科学センター (CE70)
 - 6 船舶海洋性能工学実験棟 (EN80)
 - 7 先進航空宇宙工学実験棟 (EN70)
 - 8 衛星通信実験棟 (IE20)
 - 9 アグリバイオ研究施設
 - 10 先端プロジェクト実験棟 (CE80)
 - 11 次世代エネルギー実証施設
 - 12 テニスコート (クレー)
 - 13 生物多様性保全ゾーン
 - 14 九大あかでみっくらんたん
 - 15 工学系実験施設群
 - 16 工学系総合研究棟 (コラボスペース)
 - 17 鉄鋼リサーチセンター (EN40)
 - 18 水素ステーション
 - 19 水素エネルギー国際研究センター (HY30)
 - 20 水素材料先端科学研究センター (HY10)
 - 21 キャンパスライフ健康支援センター (健康相談室、学生相談室)
 - 22 ウエスト4号館
(工学部等事務部、工学部(物質科学工学科、機械航空工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科)、大学院(工学府、統合新領域学府))
 - 23 ウエスト3号館
(工学部等事務部はウエスト4号館に所在)
 - 24 ウエスト2号館
(工学部(電気情報工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科)、大学院(工学府、統合新領域学府、システム情報科学府))
- *工学部建築学科は箱崎キャンパスに所在

- 25 工学系国際交流支援室
- 26 外国人留学生・研究者サポートセンター
- 27 ビッグどら(食堂・喫茶・売店・書店)
- 28 西講義棟
- 29 石のアート QIAO (チャオ)
- 30 総合学習プラザ
- 31 数理学研究教育棟 マス・フォア・インダストリ研究所
- 32 伊都図書館
- 33 低温センター(伊都地区センター) (CE60)
- 34 超伝導システム科学研究センター (CE50.51)
- 35 循環型社会システム工学研究センター (CE40)
- 36 東アジア環境研究機構 (CE40)
- 37 超高压電子顕微鏡棟(超顕微解析研究センター) (CE20.21)
- 38 先導物質化学研究所 (CE11)
- 39 稲盛財団記念館(稲盛フロンティア研究センター)
- 40 エネルギーセンター
- 41 学生支援施設
- 42 エコセンター
- 43 最先端有機光エレクトロニクス研究センター (OPERA)
- 44 工学部百年記念展示室「CENTENNIAL GALLERY」
- 45 キャンパス・コモン(多目的芝生)

イーストゾーン EAST ZONE

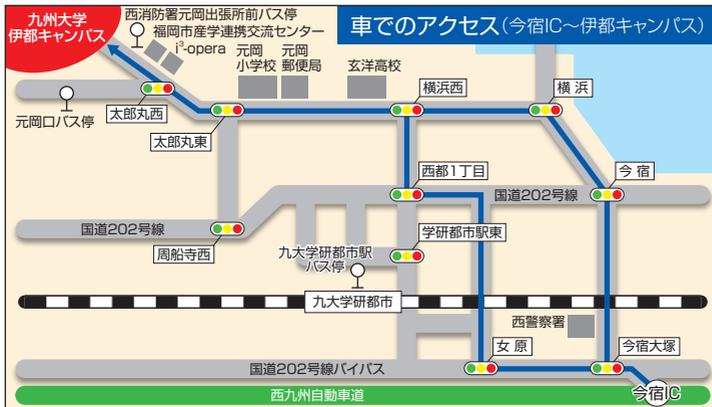
- 71 多目的グラウンド
- 72 伊都協奏館

センターゾーン CENTER ZONE

- 46 外国人留学生・研究者サポートセンター
- 47 給水センター
- 48 比較社会文化・地球社会統合科学・言語文化教育研究棟
- 49 地球社会統合科学府事務棟
- 50 キャンスライフ健康支援センター(健康相談室、学生相談室)
- 51 ビッグさんど(食堂・売店)
- 52 ビッグオレンジ(情報発信拠点)
- 53 守衛所
- 54 センター1号館(学務部、伊都共通事務部)
- 55 センター2号館(基幹教育講義室)
- 56 センター3号館(基幹教育院棟)・九大ゲートブリッジ
- 57 椎木講堂
- 58 大学本部
- 59 嚶鳴(おうめい)天空広場 Q-Commons
- 60 山川健次郎初代総長胸像
- 61 テニスコート(オムニ)
- 62 課外活動施設I
- 63 総合体育館
- 64 多目的グラウンド
- 65 ドミトリー1(学生寄宿舍)
- 66 ドミトリー2(学生寄宿舍)
- 67 ドミトリー3(学生寄宿舍)
- 68 伊都ゲストハウス
- 69 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER)
- 70 次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)

- ← 入口
- 食堂等
- P 駐車場
- A ATM
- 売 売店
- 書 書店
- WC 多目的トイレ
- IN 車輛入口
- OUT 車輛出口
- バス停

伊都キャンパスへのアクセス



出発地	経路	所要時間	到着地
福岡空港から	福岡空港 (地下鉄+JR筑肥線)	(32分)	九大学研都市 (昭和バス)
博多駅から	博多 (地下鉄+JR筑肥線)	(26分)	九大学研都市 (昭和バス)
博多駅A/バス停	(西鉄バス)	(12分)	天神 (西鉄バス[都市高速経由])
天神から	天神 (地下鉄+JR筑肥線)	(21分)	九大学研都市 (昭和バス)
	天神ソリアステージ前2B/バス停 (西鉄バス[都市高速経由])	(43分)	九大学研都市 (西鉄バス)
糸島市方面から	筑前前原駅北口/バス停 (糸島市コミュニティバス)	(23分)	波多江
	波多江駅/バス停	(23分)	波多江

伊都キャンパス
(福岡市西区元岡744)

※キャンパス内に4ヵ所バス停あり
(西鉄バスは2ヵ所)

